
短冊の挿話 ~ l e g e n d ~

葉月 あや

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

短冊の挿話〜legend〜

【Nコード】

N2828A

【作者名】

葉月 あや

【あらすじ】

1ページの童話です。伝説を紡ぐ少女が出会ったのは…。

私の仕事は正しい伝説を編纂すること。
伝説っていうのはね、

長い長い年月の中で歪曲したり脚色されたりして、
もとの話とぜんぜん違くなっちゃってるんだ。
それを正すのが私の仕事なの。

わたしは死んだ人とお話できる。
だから昔々の話を聞いたりできるのよ。

それでこの能力を買われて国王様にこの仕事任されたわけ。
相棒の妖精リリーとの珍道中は、楽しいの一言につきるんだ。
こんどは誰のお話を聞きにいかうかしら…。

「クリス！あの人だからは何？」

「あれは民間信仰の、縁結びの神殿なのよ」

リリーは小さな神殿を、もの珍しそうに見ていた。

「よし、ここの伝説にしよう。どんな物語が聞けるのかしら」

「この神社には、どういう伝説があるの？」

「悲しく美しい恋の物語よ。昔仲むつまじく

美しい男女がいたの。でも男は猟師でね、

ある時船が遭難しちゃうの。

女は悲しんであの崖で胸を剣で刺して息絶えた。

んで、次の日発見されたとき、

行方不明のはずの男の遺骸が寄り添うようにあったんだって。

そして、昔のひとが二人を同じお墓に埋めたそうよ。

2人が天国で幸せになれるようにって」

「それで、ご利益はあるの」

「さあ。叶ったって人もいるし、そうじゃないって人もいるし、つまりはそういうことなのよ」

その夜ふかく、私達は神殿に向かった。

するとすぐに男の人の霊が出てきた。あの伝説の男の人だった。

その人インタビューしたらこう言ったの。

「私達はそもそも恋仲なんかじゃなかった。

この辺に住んでるときから付きまとわれて…。

いえ、醜女と言っても過言じゃないです。

どんどん醜く見えちゃったってのもあるでしょうけど。

ええ、遭難したのをいいことに、遠くで暮らして結婚までしました。

けどあの女、あそこで死んで、僕ら家族を呪い殺しまして、

私の死体をここまで持ってきたんです。

向こうじゃまた違う伝わっているでしょうね。

ねえお嬢さん、どうかわたしを家族のもとに帰してくれませんか。

あの女にばれないように、こっさり」

私の仕事は国発行文献の編纂。

中には伝えるかどうか、考えるものもあるみたい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2828a/>

短冊の挿話 ~ l e g e n d ~

2010年12月30日04時23分発行